

平成17年度第6回理事会議事録

日時：平成17年12月17日(土)
 14:00 ~ 16:30
 場所：文京シビックホール3F
 第二会議室
 出席者：杉山、青木、五十嵐、井上、
 尾登、河原林、工藤、田浦、
 高橋、蓮見、広川、古屋、
 細谷、三橋、宮崎(紀)、
 山崎、和田、山中、八馬
 委任状出席：黒川、飯岡、糸井、岡崎、
 川崎、車、酒井、渋谷、
 長谷、梨原、早坂、宮崎
 (清)、森本、森田、渡辺、
 久保、小野
 欠席者：庄子、西川、原田

1. 会長挨拶

杉山会長より挨拶がなされた。

2. 平成17年度第5回理事会議事録の承認
 八馬本部事務局員より第5回理事会
 議事録(案)が提示され、次回理事会
 の開始時間を13:00から14:00に変更
 することで承認された。

【審議事項】

3. 平成18年度春季大会について

(田浦春季大会実行委員長)
 田浦春季大会実行委員長から平成1
 8年度春季大会について説明がなさ
 された。開催期間は6月30日(金)~7
 月2日(月)、開催場所は金沢21世紀美
 術館および北陸先端科学技術大学院
 大学、大会テーマは「美と知のデザ
 イン」である。発表数を前回と同等に設
 定したスケジュール、会場費と
 チャーターバスを見込んだ予算計画、
 今回の運営では対応が困難となる学
 生プロポジションを見送ることなど
 が承認された。受賞記念講演(3件)
 は総会終了後に行うことで合意し、

プログラムに明記することとなった。
 山中理事より学生会員(大学院生)を
 “会員”とするか“学生”とするかの
 議論が提示され、審議の結果、学生の
 経済的負担を減らして大会への参加
 を促すという意味合いを含め、“学
 生”で参加可能とすることとなった。
 その際には、会員の学生(4千円)と
 非会員の学生(6千円)に分け、会員
 の学生を優遇するものとする。金額
 には概要集(3.5千円)を含むことが
 確認された。

4. 春季大会における部会主催枠について (五十嵐研究推進委員長)

五十嵐研究推進委員長より、春季大
 会における研究部会が主導する新し
 い発表形式についての提案がなされ
 た。「オーガナイズドセッション」と
 の差別化を図ること、「研究発表」と
 いう位置付けを明確にすること、現
 時点で6部会がテーマセッションを
 希望していることが確認された。詳
 細については研究推進委員会に一任
 し、検討を進めることとなった。

5. 研究部会活性化について

(五十嵐研究推進委員長)
 五十嵐研究推進委員長より、研究推
 進委員会において議論されている研
 究部会の意義・意味・目的、構造、運
 営についての報告がなされた。杉山
 会長より、研究部会を年度単位にす
 るなど、廃止する場合の仕組みを盛
 り込んでほしいという要請があった。

6. 春季大会オーガナイズドセッション について (尾登企画委員会委員長)

尾登企画委員会委員長より、春季大
 会におけるオーガナイズドセッシ
 ョン案および現時点で提案されている
 企画案が提示された。
 また、杉山会長より「基礎教育にお
 ける美術について」をオーガナイズ
 ドに含めるかどうかの提案があり、審
 議事項13で議論することとなった。

7. 概要集について

(古屋概要集編集委員会委員長)
 古屋概要集編集委員会委員長より、
 春季大会における概要集について、
 スケジュール案、質の向上に向けた
 見直し点、これまでの傾向などの説
 明がなされた。スケジュールにつ
 いては承認された。

杉山会長より、発表カテゴリーはI
 ASDRや論文審査のことも含め、
 論理的に考える必要があるという指
 摘があったことから、今後継続して
 研究推進委員会を中心に検討するこ
 ととなったが、今回は登録の関係も
 あるため、編集委員に一任すること
 となった。

また、口頭発表の座長は原則として
 「理事」「理事経験者」「評議員」が
 行うことを基本とし、会場の討議の活
 性化を目指して、報告義務を付加す
 る方向で再検討することとなった。

8. デザイナー資格制度について

(和田事業委員会委員長)
 和田事業委員会委員長より、春季大
 会オーガナイズドセッション・テ
 マ1としても掲げているデザイナー
 資格に関する提案がなされた。オー
 ガナイズドセッションで取り上げる
 こと、ベースはCPDとすること、詳
 細は現時点で決める必要はないこと
 が確認された。杉山会長より、学会が
 資格を出すわけではなく、CPDを
 学会が担当し資格はJIDAが担当す
 ることもありうるという見解が示され
 た。

9. 電子図書館システムの変更に伴う手 続きについて

(山中広報委員会委員長)
 山中広報委員会委員長より、新電子
 図書館システムCiNii(サイニー)の
 説明がなされた。審議の結果、シス
 テムを移行して有効に活用し、非会員
 の閲覧を有料化することが承認され
 た。

10. 共催事業のWeb 掲示について
(山中広報委員会委員長)
山中広報委員会委員長より、学会協賛行事のホームページによる案内が提案され、承認された。運用の際には、学会報の掲載基準を明確にすることが必要となるため、出版委員会と共同して検討することとなった。
11. 委員会幹事の申請について
(山中広報委員会委員長)
山中広報委員会委員長より、柿山浩一郎氏と内山俊朗氏の両名を幹事としたいとの意向が示され、承認された。これに伴い、就任要請の文章を事務局から送付することとなった。
12. デザイン学会会費についての提案
(山中広報委員会委員長)
議論が必要な案件であるため、審議は次回に行うこととなった。
13. 基礎教育における『美術』について
(杉山会長)
杉山会長より、基礎教育における美術教育の義務化について、全国造形教育連盟より中央教育審議会へ嘆願書を提出することが要請されていることが報告された。審議の結果、土木学会や建築学会などの他団体と調整を図り、1月中に連名で提出することとなった。また、春季大会でシンポジウムのテーマとすることを検討することとなった。
14. 平成18年度秋季大会について
(杉山会長)
議論が必要な案件であるため、審議は次回に行うこととなった。
15. 会員の移動について
(八馬本部事務局員)
本部事務局に提出された書類を回覧、審査した結果、入会[正会員12名(内外国人2名)],退会[正会員26名],賛助会員2件、年間購読1件が承認された。
16. 特別研究部会について(杉山会長)
杉山会長より、知財特別研究部会および景観法特別研究部会の2つの特別研究部会はまとめを行うように要請があった。
17. 意匠法改正に伴う要望書の提出について(青木知財特別部会部長)
青木知財特別部会部長より、意匠法改正検討案に関する要望書を特許庁に提出したことが報告された。
18. 「学会各賞選考委員会」および「勝見勝賞選考委員会」の構成について(宮崎学会各賞選考委員会委員長代理青木理事)
青木理事より、学会各賞選考委員会と勝美勝賞選考委員会の構成の変更が報告された。
19. 勝見勝賞候補者の推薦依頼について(青木勝見勝賞選考委員会委員長)
青木勝見勝賞選考委員会委員長より、勝見勝賞の候補者推薦依頼を12月28日締切りとすることが報告された。
20. IASDR理事会報告(山中理事)
山中理事より、11月2日に台湾・雲林大学で行われたIASDR理事会についての報告がなされた。内容は、部会長と財務は決定していないこと、次回は香港で行うこと、プログラムの骨子は山中理事が策定すること、ジャーナルを作成すること、定例会(年に一度)を設定することである。
21. デザイン学アクリディテーション取得に関する報告
(森田理事代理八馬本部事務局員)
八馬本部事務局員より、11月30日に行われたデザイン学アクリディテーション取得に向けたミーティングの報告がなされた。杉山会長より、動きが遅いため、スピードアップする必要があるとの指摘があった。
22. 第一回第1支部大会報告
(杉山会長)
杉山会長より、11月19日に行われた第一回第1支部大会の報告がなされた。160名が参加した大きな大会となったこと、次回以降の予算取りが問題であることが説明された。
23. 平成18・19年度評議員選挙について(細谷選挙管理委員長)
細谷選挙管理委員長より、平成18・19年度の評議員選挙を行ったことが報告された。
24. 次回理事会日程(拡大)(評議員会)について
平成18年3月後半の日程で、後日事務局にて決定することとなった。(3月26日(日)10:00~ 拓殖大学文京キャンパスに決定)

記録：八馬

平成17年度第7回理事会議事録

日時：平成18年3月26日(日)
10:00～12:00
場所：拓殖大学 文京キャンパス
第1会議室
出席者：杉山、青木、黒川、五十嵐、
河原林、車、田浦、高橋、
長谷、西川、蓮見、古屋、
細谷、宮崎(紀)、山崎、
和田、渡辺、山中、八馬、
小野、工藤幹事、永井実行
委員
委任状出席：飯岡、糸井、井上、岡崎、
尾登、川崎、工藤、酒井、
渋谷、庄子、梨原、早坂、
原田、広川、三橋、森田、
久保
欠席者：宮崎(清)、森本

1. 会長挨拶

杉山会長より挨拶がなされた。

2. 平成17年度第6回理事会議事録の承認
八馬本部事務局員より平成17年度第
6回の議事録(案)が提示され、承認
された。

【審議事項】

3. 平成18年度春季研究発表大会につ
いて (田浦春季大会実行委員長)
田浦春季大会実行委員長から平成1
8年度春季研究発表大会の準備状況
について説明がなされた。現時点で
は、3日目は午前中までを予定して
いるが、発表件数により柔軟に対応
していきたいとの説明がなされた。
また企画委員から、オーガナイズド
セッションが4つに増えた場合も検
討して欲しいとの要望があり、それ
に対しても、発表件数が決まった段
階で、柔軟に対応していきたいとの
意向がしめされた。

また大会に関係する本部事務局、概
要集編集委員会、研究推進委員会、企
画委員会の理事が来年度の組織変更
に伴い変更される問題については、
実行委員として引き続き大会の実行
に携わることで了承された。

4. 芸術学関連学会連合(日本学術会議) について

(黒川日本学術会議担当理事)
芸術学関連学会連合(芸術学研究連
絡委員会が廃止され、それ代わる組
織)の設立の可否、および設立された
場合の参加の有無について、メール
により審議を行ったところ、反対意
見は無く、2～3の理事から賛成の
意見を頂いたので、学会として参加
の意向を示したことが報告された。
また6月に開催する第1回シンポジ
ウム(テーマ:「藝術の変遷と芸術学
の変貌」)において、日本デザイン学
会に対してパネリストの要請があっ
たことが報告され、審議の結果、理事
から候補者を推薦して頂き、ない場
合は会長と副会長で相談の上、指名
することとした。また会費を現在の
一万円から一万五千円に上げたいと
の要望に対しては、審議の結果、了承
することとした。会長選挙について
は、各団体から候補者をたて選出を
行うというのは、会の性格に沿わな
いため、会の設立にご尽力頂いてい
る佐々木健一氏にお願いする形にな
るであろうとの報告がなされ、了承
された。また杉山会長から、第一部と
して建築学会に対して、第一部への
参加を呼びかけて欲しいとの意向が
しめされ、黒川担当理事が次の機会
に提案することとした。

5. 研究部会活性化について

(五十嵐研究推進委員会委員長)
文献部会から会長あてに、文献部会
がこれまでやってきた内容は、一研
究部会として取組むよりも、学会と
して取組む方が適切ではないかとの

提案があったことが報告され、審議
がなされた。審議の結果、文献部会
の活動が、本来学会として取組むべき
内容であることは十分理解できるた
め、部会としては無くすことで了承
がえられた。学会として文献に対し
てどのように貢献すべきかについて
は、簡単に解決できる問題ではない
ため、次年度の組織に申し送ること
とした。

6. オーガナイズドセッションについて (古屋企画委員)

例年は3つのオーガナイズドセッ
ション行っていたが、本年度は4つ
行いたいとの意向が示され、議論さ
れた結果、プログラムを工夫するこ
とにより対応することとした。また
テーマとしては前回の理事会で承認
された3つに加えて、「基礎教育とデ
ザイン」について審議がなされ承認
された。また杉山会長からオーガナ
イズドセッション「基礎教育とデザ
イン」について、美術と技術の両領域
からのパネリストを考えて欲しいと
の意向が示され、検討することとし
た。また田浦大会実行委員長より、教
育部会のテーマセッションとの連携
も考えて欲しいとの意向がしめされ、
検討することとした。

7. 概要集について

(古屋概要集編集委員会委員長)
25日20:30の時点での応募数
は42件との報告がなされた。締切
りは27日なので、余裕を持って応
募するよう、関係者に周知して欲し
いとの要請があった。またグッドプ
レゼンテーションについて説明がな
され、審議がなされた。賞に関して
は、会長名ではなく、大会委員長名
で出すことし、推薦方法については、論
文審査委員会と検討を進めることと
した。

8. 名簿について（古屋名簿担当理事）
現在の進捗状況について説明がなされ、編集作業はほぼ終わっていると報告がなされた。また名簿、会則、活動記録を一冊にまとめるのか、複数に分けるのかについて議論がなされ、一冊にまとめることとした。

9. 勝見勝賞選考結果について
（青木勝見勝賞選考委員会委員長）
青木勝見勝賞選考委員会委員長より、選考の経緯、業績、選考結果について説明がなされ、宮崎清氏を勝見勝賞受賞候補者として選考に至ったとの報告がなされた。審議の後、承認された。

10. 春季大会会計報告
（森田実行委員長代理渡辺本部事務局長）
森田実行委員長の代理で渡辺本部事務局長より、春季大会会計報告について、資料が配られ報告がなされた後、承認された。

11. 秋季大会会計報告
（長谷実行委員長）
長谷実行委員長より、秋季大会会計報告について、資料が配られ報告がなされた後、承認された。

12. 会員の移動について
（八馬本部事務局長）
本部事務局に提出された書類を回覧、審査した結果、入会[正会員40名(内外国人6名)]、退会[正会員29名、賛助会員1件、年間購読1件]が承認された。

【報告事項】

13. 学会誌のオンラインジャーナル契約更新結果（山中広報委員会委員長）
前回の理事会で承認頂いたとおり、料金制で契約更新を行ったことが報告された。論文集、作品集、特集号、研究発表大会概要集にそれぞれ課金を行う予定であるが、年間購読会員

場合は、研究発表大会概要集の料金は会費含まれているが、会員の場合は含まれていないといった問題があり、会員区分と料金体系については、さらなる検討が必要あるため次の委員会に申し送りしたいとの報告がなされた。

また情報学研究所からは初号からオンライン化させて欲しいという要望があるが、現状では1997年以前の著作権の譲渡確認が行えないため、さらなる検討が必要であり次の委員会に申し送りしたいとの報告がなされた。

新しい区分として学生会員を考慮にあたり、オンラインジャーナルのみの閲覧に限れば、会費3000円、入会金2000円で十分採算がとれるとの報告がなされ、またこのことが会員拡大につながるのであれば、早急に取りかかるべきであるとの意向がしめされた。

14. 学会ホームページの更新について
（山中広報委員会委員長）

現在ホームページの更新作業は、広報委員会の委員が全て行っており、更新作業の遅れが発生しているため、それぞれの各委員会が更新できるシステムへの意向を考慮しており、現在テスト中であるとの報告がなされた。また現在のテストの段階では、問題がなさそうなので、早急に新しいシステムに移行したいとの意向が示された。ただ掲載範囲についてどこまで許可するかについて明確なガイドラインが必要であり、早急に検討を進めていきたいとの意向がしめされた。

15. 初等中等教育の美術、音楽等に対する要望書について（杉山会長）
杉山会長から、建築学会、土木学会、日本デザイン学会の三学会が合同で要望書を提出したが、その後、文部科学省は美術、音楽等を必須科目から

外す意思はないとの情報が得られたとの報告がなされた。

16. デザイナーCPD制度・資格制度推進に関わる関連報告

（和田事業委員長）

昨年12月23日に第2回日中韓デザイナー資格制度に関するラウンドテーブルミーティングが開催され、資格制度に関する覚書がかわされたとの報告がなされた。また1月～2月にかけて、東京、名古屋、大阪で開催されたJIDAフォーラムについて報告がなされた。

また電子情報技術産業協会や日本自動車工業会と行った2回の打合せについて報告がなされ、それぞれの組織の中でまとめるのが困難であるとの印象を持っているとの報告がなされた。

記録：小野

平成18, 19年度役員選挙結果

<会長> 杉山 和雄

<副会長> 青木 弘行

<地区理事>

1地区 石川 善美 降旗 英史

2地区 松岡 由幸 清水 泰博

3地区 酒井 正明 國本 桂史

4地区 面矢 慎介 三橋 俊雄

5地区 車 政弘 田村 良一

<全国理事>

青木 史郎 阿部 眞理

植村 朋弘 大島 直樹

大平 智弘 岡崎 章

工藤 卓 工藤 芳彰

久保 光徳 佐藤 弘喜

白石 照美 須永 剛司

永井 由佳里 中嶋 猛夫

生田目 美紀 西川 潔

細谷 多聞 森田 昌嗣

両角 清隆

<監査> 宮崎 清 原田 昭

募集案内

第22回ファジィ システム

シンポジウム in 札幌

開催期間：2006年9月6日(水)～9月8日(金)

会場：北海道学園大学 豊平キャンパス 7号館(〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1-40、市営地下鉄東豊線「学園前駅」3番出口直結)

主催：日本知能情報ファジィ学会

共催：国際ファジィシステム学会、IEEE Computational Intelligence Society Japan Chapter

協賛(予定)：情報処理学会、日本感性工学会、日本機械学会、日本デザイン学会、日本人間工学会、ヒューマンインタフェース学会他

スケジュール：

5月10日(水)：一般・企画セッション講演申込み締切

6月29日(木)：原稿送付締切

7月28日(金)：事前参加申込み締切
詳細については、下記URLから公式ホームページをご覧ください。

URL：<http://fss2006.eli.hokkai-s-u.ac.jp/>

カラーフォーラム

JAPAN 2006

カラーフォーラム JAPAN 2006 を下記のように開催いたします。色彩の科学・工学・技術は、光学、写真、印刷、テレビ、電子画像、情報処理、照明、デザイン、芸術、医学、心理などの広い分野で、重要な基盤技術の一つとして独自に発展してきました。本フォーラムはこのような学際的な色の問題を統一的に討論できる唯一の場として、日本の色彩科学と工学・技術の発展に寄与することを目的としています。独創性、新規性、有用性のある研究成果が多数発表されますよう、多くの皆様のご応募をお待ちしております。

期日：2006年11月27日(月)～11月29日(水)

会場：工学院大学(東京・西新宿)
主催：光学四学会幹事会[日本色彩学会 日本写真学会 日本光学会(応用物理学会)照明学会]

共催：映像情報メディア学会 画像電子学会 電子情報通信学会 日本画像学会

協賛：情報処理学会 電気学会 日本印刷学会 日本心理学会 日本デザイン学会他

構成：口頭発表(20分) ポスター発表(60分) 特別/招待講演およびチュートリアルセミナー。

口頭発表機器：OHP、ビデオおよびPCプロジェクター。

ベストプレゼンテーション賞：カラーフォーラムの名にふさわしい(わかりやすい、見やすい、そして美しい)発表に対して賞を贈ります。

募集論文内容：最近おこなった未発表の研究で下記のいずれかに該当するもので、発表形式は口頭(本会場)またはポスター(ポスター会場)です。

- (1) 色覚
- (2) 表色・測色(色の体系、色差、色の見えと評価、条件等色、測色器など)
- (3) 照明(光源、演色性、蛍光灯、LED、レーザーなど)
- (4) 色彩記録・色再現(写真、印刷、ハードコピー、カラーマネージメントなど)
- (5) 色彩情報処理・評価(画像処理・評価・認識、信号変換など)
- (6) 色彩表示・色彩表現(TV、ディスプレイ、LCD、CGなど)
- (7) 色彩材料(色素、フィルター、染料、顔料、蛍光体など)
- (8) 色彩心理
- (9) 色彩計画・色彩調和
- (10) 色彩文化・色彩教育

応募資格：著者のうち1名以上が主催・共催・協賛学協会会員であること。

講演申込方法：A4・1枚に、1. 題目、氏名、所属、共著者名、2. 論文のアブストラクト(500字程度、図表も含む) 3. 上記希望分類、発表形式の希望、所属学協会、および4. 連絡先(所

在地・電話・Fax・Email)を下記あてお送りください。Fax/Email(推奨)可。プログラム編成上、分類と発表形式は変更をお願いすることがあります。

申込書および概要の提出期限：2006年8月8日(火)

応募論文の審査：委員会において申込時提出の内容概要で審査します。

論文集原稿：採択論文についてはオフセット印刷用カメラレディ原稿・4ページ(A4判)を提出していただきます。原稿作成の詳細は、論文採択通知(8月下旬)とともにお知らせいたします。

論文集原稿締切：2006年11月1日(水)

送付先・問合せ先：カラーフォーラム JAPAN事務局

〒161-0033 東京都新宿区下落合3-17-42 連企画気付

Tel: (03)3950-1641

Fax: (03)3565-7717

Email: ren-net@vega.ocn.ne.jp

http://www.ren-associates.com/ColorForumJ/cfp/home_jp.html

催し物

スティーブン・ホール展

期間：2006年6月2日(金)～7月29日(土) 日曜、月曜、祝日休館

開催時間：11:00～18:00、金曜日のみ19:00まで、入場無料

場所：ギャラリー・間(〒107-0062 東京都港区南青山1-24-3 TOTO乃木坂ビル3F、東京メトロ千代田線「乃木坂」駅3番出口徒歩1分)

Tel 03-3402-1010 / Fax 03-3423-4085

後援：(社)東京建築士会、(社)東京都建築士事務所協会他

協賛：TOTO

詳細については、下記URLからホームページをご覧ください。

URL：<http://www.toto.co.jp/gallery/>

献本御礼

寄贈図書

- ・戦後日本デザインの軌跡 1953-2005 千葉からの挑戦、千葉大学

機関誌

- ・大阪コンベンションニュース vol.109.(財)大阪観光コンベンション協会、2006
- ・KUMAGAI UPDATE、No.58 地震動から絶縁する免震構法、(株)熊谷組、2006

予稿集・論文集・報告書

- ・多摩美術大学研究紀要、第20号 創立70周年記念、多摩美術大学、2005
- ・神戸芸術工科大学紀要、芸術工学2005、神戸芸術工科大学、2005
- ・デザイン理論、vo47、意匠学会、2005

会員の移動

平成17年度第七回理事会承認 2006.3.26

* 入会: 正会員 40名 (内外国人 6名)

池町 優太	伊藤 弘樹
市原 増夫	大澤 晃平
岡田 亮士	加藤 健郎
加藤 ゆみ子	喜多 真弓
木村 徹	黒瀬 陽代
小林 洋平佐	藤 浩一郎
佐藤 紀子	定延 久美子
白澤 友朗	柴崎 幸次
志甫 雅人	重村 将之
檀 正宏	土橋 嘉文
十時 宏之	中村 佐雅仁
西出 隆祐	野村 悠二
野々山 正章	濱本 皇心
服部 素枝	平石 恵
福田 大年	宮地 晶子
森田 純哉	山崎 裕子
山崎 真湖人	八代 美智子
EDILSON.S.UEDA	馬 闌
黄 群	劉 長菁
周 臻	賴 孟玲

* 退会: 正会員 29名

荒井 善則	内田 武彦
江波戸 武信	大林 学
岡田 哲也	緒方 誠人
川原 司郎	菊池 孝
栗谷 宣之	坂下 実
清水 慶太	杉崎 昌盛
高沢 恭子	高島 寛
田山 茂夫	長野 いづみ
林 久美雄	林 忠一
日吉 聡子	星野 隆三
細井 彰博	松島 誠
水野 将成	安井 皓一
山中 能雄	山本 昭子
山本 宗	吉岡 徹
渡部 哲也	

* 年間購読会員 1件

大阪市立大学 学術情報総合センター

* 退会: 正会員 14名

浅沼 千春	岩井 庸之介
大隅 理恵	大山 努
滝澤 茂彦	田丸 和寿
中川 早苗	長塚 智美
古川 政明	本荘 正彦
増山 英太郎	森部 陽一郎
吉原 宏	良知 将範

平成18年度第一回理事会承認 2006.4.15

* 入会: 正会員 30名 (内外国人 5名)

有賀 義之	池田 大祐
石井 成郎	植松 知恵
宇都木 望	岡本 康作
尾崎 洋	梶井 紀孝
加藤 完治	加藤 雄大
桑畑 健	河野 真哉
小森 久栄	小早川 真衣子
真行寺 由郎	繁田 智行
田原 雅浩	中田 希佳
中村 翔一	野田 圭太
平野 雄宇	湊 貴恵
山田 悦明	餘久保 優子
脇田 玲	金 南珠
柴 嘉一	林 家華
HAN Hee Kyung	Moon, Ho-Rim

日本デザイン学会

平成18年度総会の予告

日本デザイン学会 会員各位

平成18年度日本デザイン学会総会を、下記のように開催いたします。
各位におかれましては、ご出席くださいますよう、ご案内申し上げます。

記

日時：平成18年6月30日(金曜日)総会 10:00~11:00(受付開始9:00~)
会場：金沢21世紀美術館(シアター21)

式次第

1. 総会成立の確認ならびに開会宣言
2. 会長挨拶
3. 議長団選出
4. 議事
 - ・平成17年度理事会・事業報告
 - 理事会報告 論文審査・論文集編集委員会 作品審査・作品集編集委員会
 - 学会誌編集・出版委員会 研究推進委員会長 企画委員会 事業委員会 広報委員会
 - 財務委員会 支部委員会 市販図書企画・編集委員会 学会各賞選考委員会
 - 平成17年度春季研究発表大会実行委員会 平成17年度秋季企画大会実行委員会
 - IASDR(ASSD) 日本学術会議 横断型基幹科学技術研究団体連合 日本工学会
 - 本部事務局 「景観法」特別研究部会 「知財」特別研究部会
 - ・平成17年度決算報告
 - ・平成17年度会計監査報告
 - ・平成17年度決算報告承認
 - ・平成18年度事業計画
 - 論文審査・論文集編集委員会 作品審査・作品集編集委員会 学会誌編集・出版委員会
 - 研究推進委員会 企画委員(総合企画) 企画委員会(支部企画) 事業委員会(アクリディテーション)
 - 事業委員会(継続教育・資格制度) 広報委員会 財務委員会 市販図書企画・編集委員会
 - IASDR担当 日本学術会議担当 横断型基幹科学技術研究団体連合担当 日本工学会担当
 - 本部事務局 第1支部 第2支部 第3支部 第4支部 第5支部
 - ・平成18年度予算案説明
 - ・平成18年度予算案承認
5. 議長団退席
7. 名誉会員証贈呈
8. 閉会挨拶

お 願 い

総会を欠席される会員は、書面をもって議決権を行使することができます(会則第22条)。
ご欠席の場合は、出席する正会員を代理人として、必ず委任状をご提出ください。なお、正式のご案内は改めて葉書にて全会員にお知らせいたします。

日本デザイン学会 平成18年度春季大会（第53回研究発表大会）のご案内

開催日：平成18年6月30日（金）～7月2日（日）

会場：金沢21世紀美術館（1日目）

北陸先端科学技術大学院大学（2・3日目）

大会プログラム

6月30日（金） - 金沢21世紀美術館（シアター21）

総会

受賞記念講演

勝見勝賞 表彰式

開会式 会長挨拶 大会委員長挨拶

基調講演 「心あるデザイン」平野 拓夫（金沢美術工芸大学学長）

特別講演 「美術館が街をかえる」蓑 豊（金沢21世紀美術館館長）

エキスカーション

7月1日（土） - 北陸先端科学技術大学院大学（石川ハイテク交流センター）

口頭研究発表（研究部会統括発表・一般発表）

ポスター研究発表

オーガナイズドセッション1

「CPDを念頭に置いたデザイナー資格に関するデザイン界の動向」

オーガナイズドセッション2

「伝統素材と感性デザイン」

7月2日（日） - 北陸先端科学技術大学院大学（石川ハイテク交流センター）

口頭研究発表（研究部会統括発表・一般発表）

ポスター研究発表

オーガナイズドセッション3

「基礎教育としてのデザイン」

オーガナイズドセッション4

「デザイン業務における新しいベクトルの構築」

閉会式・グッドプレゼンテーション賞授与式

大会参加費

会員 7,000円， 会員学生 4,000円， 一般 9,000円， 一般学生 6,000円

研究発表費 4,000円

大会参加のお申し込みのお願い

皆様のご参加をお待ち申し上げております。

事前お申し込みをお願い致します。(6/16迄)

大会ホームページ，「参加案内/申込」ボタンからお入りください

<http://www.jaist.ac.jp/ks/labs/nagai/jssd2006/index.html>

注意 2日目/3日目の会場は、金沢市内より若干離れたところに位置しております。金沢駅より大会専用の無料シャトルバスを運行いたしますが、ご乗車には事前予約が必要です。また、3日目の昼食については、食事のできる場所が限られております。会場内レストランをご利用の方は、必ずお申し込みください。

大会事務局：

石川県能美市旭台1-1 北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科

日本デザイン学会春季大会実行委員会事務局

E-mail: 2006jssd@jaist.ac.jp

Tel. & Fax. 0761-51-1706（永井） 0761-51-1707（森田）

* 詳細につきましては、別冊プログラム及び大会HPをご覧ください

No.06-5 Design シンポジウム 2006

共 催：日本機械学会(設計工学・システム部門)[幹事学会]，精密工学会，
日本設計工学会，日本建築学会，日本デザイン学会，人工知能学会
協 賛：The Design Society，横断型基幹科学技術研究団体連合
開 催 日：2006年 7月4日(火)，5日(水)
会 場：早稲田大学 大久保キャンパス
〔東京都新宿区大久保3-4-1 / JR・地下鉄「高田馬場」駅下車徒歩12分〕

趣 旨

現代社会の諸問題は複雑・曖昧なものが多く，これまでのような特定の専門領域の知識に基づくアプローチでは解決困難なことが多くなってきています．設計やデザインに関連する問題解決にも，領域横断的な知識と多様な主体のコラボレーションによる新たなアプローチが強く求められてきています．このような背景を鑑み，日本機械学会，精密工学会，日本設計工学会，日本建築学会，日本デザイン学会の5学会は，"Design" という共通の問題に対する理解を深め，学術的，実践的な新たな展開，日本における設計とデザインを統合した研究の中心となるコミュニティの形成をめざし，Design シンポジウム2006を企画いたしました．本シンポジウムでは，一般講演のほか，特別講演・招待講演，パネルディスカッションなどの特別企画も予定しております．多数の皆様の積極的なご参加をお願いいたします

《招待講演》 7月4日(火) 13:30 ~ 14:30 (大講演室)

〔司会 村上 存(東大)〕

『脳と創造性』

茂木健一郎(脳科学者，ソニーコンピュータサイエンス研究所 シニアリサーチャー)

《基調講演1》 7月4日(火) 17:40 ~ 18:20 (大講演室)

〔司会 松岡由幸(慶應大)〕

『機能の内部構成と外部構成 - Inner Architecture and Outer Architecture of Object Function - 』

杉山和雄(千葉大学 大学院自然科学研究科 教授)

《基調講演2》 7月5日(水) 13:30 ~ 14:10 (大講演室)

〔司会 藤田喜久雄(阪大)〕

『人間 - 環境系のデザインの展望 21世紀のデザインビジョン』

門内輝行(京都大学 大学院工学研究科 建築学専攻 教授)

《パネルディスカッション》 7月5日(水) 15:50 ~ 17:20 (大講演室)

〔司会 村上 存(東大)〕

『Design 研究の現状と将来』

藤田喜久雄(大阪大学)

松岡由幸(慶應義塾大学)

武田英明(国立情報学研究所)

山田哲弥(清水建設技術研究所)

《一般講演》

講演時間15分，討論5分とします．

印が講演発表者です．省略されている場合は筆頭者が講演発表者です．(別途プログラム参照)

参加申込要領

参加者は事前登録をお願いいたします（発表者の方も参加申込が必要です）。

「Design シンポジウム 2006 参加申込」と題記（電子メールの場合は Subject 名）し、(1)氏名、(2)所属学会名・会員資格、(3)勤務先・所属部課名、(4)連絡先所在地・電話番号・FAX 番号・電子メールアドレス、(5)懇親会への出欠、(6)参加登録費に含まれる講演論文集 1 冊の他に講演論文集が必要な場合はその冊数を明記し、参加申込先あてに電子メールまたは A4 判の用紙にて FAX、郵送でお申込み下さい。

参加登録費

共催学会員	正員	10,000 円（講演論文集 1 冊含む）
	学生会員（登壇者）	5,000 円（講演論文集 1 冊含む）
	学生会員（聴講のみ）	無料（講演論文集なし）
非会員		13,000 円（講演論文集 1 冊含む）

* 参加登録の費用および領収書の受渡は、会場受付のみにて行います。

* 講演論文集の事前送付はせず、当日配布となります。

懇親会

第 1 日（7/4）18：30 から懇親会を開催します。参加登録者（聴講のみの学生会員は除く）は無料ですので奮ってご参加下さい。

講演論文集（別売り分）

共催団体会員 5 000 円 / 共催団体会員外価格 6 000 円

* 講演論文集購入だけをご希望の方は、事前予約していただかないと入手できません。

開催前に日本機械学会宛に事前予約申込み下さい。シンポジウム終了後の発送になります。

Web ページ

詳細プログラム、シンポジウムの最新情報は、日本機械学会 設計工学・システム部門ホームページ（<http://www.jsme.or.jp/dsd/>）をご覧ください。

参加申込送付先

〒160-0016 東京都新宿区信濃町 35 番地 信濃町煉瓦館 5 階

社団法人 日本機械学会

Design シンポジウム 2006(No.06-5)

設計工学・システム部門担当 遠藤貴子

電話(03)5360-3501 / FAX(03)5360-3508 / E-mail: endo@jsme.or.jp

問合せ先

〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学 大学院工学系研究科 産業機械工学専攻

村上 存 (Design シンポジウム 2006 運営委員会委員長)

電話・FAX(03)5841-6327 / E-mail: murakami@design.t.u-tokyo.ac.jp